

事務事業名		環境学習推進事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		環境課		事業種別	政策	開始	6	終了	
H28係等名		環境保全係		H27係等名		環境保全係			
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり					
		施策	54	自然とのふれあいと環境学習の推進					
目的	対象(誰・何を)	①環境調査員(環境チェッカー) ②市内に生息する動植物			指標名及び単位		27年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	①環境調査員(環境チェッカー)の環境意識が高まる ②動植物の生息状況を把握する			環境調査員(環境チェッカー)(人)		56		
	向上させたい上位施策の成果指標	自然とふれあいを持ったことがある市民の割合(%)			調査対象とした動植物数		14		
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	環境への意識が高まったとするチェッカーの割合(アンケートによる)(%)			80	80	80	-	
	成果指標	動植物調査報告件数(件)			400	460	400	-	
	定性目標	環境調査員(環境チェッカー)の環境意識の向上、指標動植物の生息状況の把握を行う。							
事業概要	1 各小中学校推薦の児童生徒と各地区の推薦又は応募による大人110人以内を環境調査員(環境チェッカー)として委嘱し、市内の身近な自然環境調査活動を実施する 2 豊かな自然環境を保全し、自然とふれあう、体験型の学習の機会を提供する 3 こどもエコクラブ事務局から送付される通知、キットの配布								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 環境調査員(環境チェッカー)による動植物調査の実施 2 調査活動の正確性をより高めるため、事前に調査員に対して調査活動を行うにあたっての研修を行う 3 自然観察会(自然観察会、水生生物観察会)や環境学習会などを開催を検討すると共に環境に関する講演会等の案内を行う 4 こどもエコクラブの通知の送付、キットの配布 5 各学校で取り組みやすい環境学習の紹介 【こどもエコクラブ支援事業を統合】				1 参加者数 2 報告件数 3 開催数 4 配布件数		1 56人 2 460件 3 3回 4 3回		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		213	489	266	460				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		213	489	266	460				
人件費計(千円)②		2,199		0					
正規職員所要時間		600							
臨時職員所要時間		50							
総事業費①+②		2,412	489	266	460				
事業内容・目標達成状況の振り返り		環境チェッカーについては、調査方法をよりわかりやすい内容として実施した。学習会や自然観察会等行って意識を高めた。							
改革改善の考え方	①問題点	調査員へのよりわかりやすい説明会の開催と成果のまとめ方の検討							
	②改革提案	指標動植物調査の精度を高めることで、報告数も上がることが考えられる。そのために調査の方法が会得できる学習会や自然観察会などにより意識を高めてきた							